

第 34 回日本包装専士会定期総会

議案書

第一号議案:2022 年度活動実績

第二号議案:2023 年度活動計画

第三号議案:2023 年度役員選出

日本包装専士会

2023 年 5 月 24 日(水)

15:00—16:00 (14:30 受付開始)

会場：株式会社文昌堂 会議室

第一号議案:2022 年度活動実績

2022 年度も新型コロナ蔓延の影響を受け、当会のメイン活動の一つ「専士会包装技術セミナー」が 3 年連続して開催できず、また、理事会及び各委員会の活動もリモート開催が通常の形態となった。限られた委員会活動として関西ミニセミナーの開催や東京パック 2022 他、展示会・講演会等に向けて情報発信を行なった。一方では理事会運営、ホームページの改善、新入会会員とのコミュニケーション、会員増強などに取り組んだ。

(1) 第 33 回定期総会開催 2022 年 5 月 17 日(火)

4 議案は賛成多数で可決成立。(会則改定を含む)

(2) 理事会開催(2022 年度)

第 1 回 7 月 19 日(火)

嶋会長所信表明。外部委員 2 名の申請と承認。

JPI「包装技術」掲載計画と各委員会への依頼。ホームページ改修の終了報告。

第 2 回 9 月 20 日(火)

TOKYO PACK 2022 専士会関連の講演／展示内容の周知。専士会員の外部講演の報酬取決め、承認。

第 3 回 11 月 15 日(火)

TOKYO PACK 2022 専士会関連事業の結果報告。第 34 回総会の日程と理事会の日程調整。

第 4 回 1 月 24 日(火)

総会資料の準備と委員会への作成依頼。定年理事 3 名の延長承認。役員選任規程について議論。

第 5 回 3 月 28 日(火)

総会資料(決算、予算、活動報告、来期計画)の議論と理事会承認。

(3) 会計監査実施 2023 年 4 月 14 日(水) 会計監査実施。

2022 年度の会計監査を岡田紙業の菅監事に依頼し、承認終了。

(4) 委員会活動実績(2022 年度)

【展示委員会】

- ・TOKYO PACK 2022 で、包装 4 団体による集中展示では、パネル 4 枚に加え、配布 A4 冊子 9 ページの原稿を執筆した。
- ・TOKYO PACK 2022 での包装 4 団体による集中展示内容に即した講演(40 分間)の講演者の選定を検討し、最終的に JPI にて選定頂いた。
- ・包装技術 8 月号の包装専士に、TOKYOPACK2022 に関して展示委員会で原稿を執筆した。

【情報委員会】

- ・(公社)日本包装技術協会発行「包装技術」内の日本包装専士会 PR ページ執筆とりまとめ。
年間計画を理事会でオーソライズし、各委員長に執筆依頼をした。本年度は各委員会の催事や活動内容を主体に掲載した。
- ・原稿草案から JPI への入稿までのフローと標準日程を作成。

【セミナー委員会】

- ・5月25日関西ミニセミナーに講師参加「世界のユニークなコーヒー飲用文化」。
- ・11月24日日本食品包装協会「Next Package 展」にブース出展を実施、展示内容は未来包装研究委員会
が東京パック2022で作成したパネルを発表。

【未来包装研究委員会】

① TOKYO PACK 2022 関連

- ・専士会ブース展示パネルとして「2030年包装の未来予測」8枚を作成、展示。
- ・コラボセミナー(2022年10月13日(木))「国立環境研究所×マシンガンズ滝沢秀一×日本包装専士会:
Z世代が問う未来への課題～パッケージ、食品ロス～」を企画・実施した。

② CLOMA 事務局より依頼あり、第4回 CLOMA 技術セミナー(2023年1月12日(木))に「より良い包装未来の 姿と生活者起点の協業・協働について ～欧米動向を参考に～」を講演した。

資料として、Mintel 社「Sustainability Barometer 2022」を引用した。(Mintel Japan 承諾済)

③ 外部団体との交流

- ・紙製容器包装リサイクル推進協議会 (4/12 専務理事)
「今後のあるべき紙製容器包装のリサイクル」について意見交換。
- ・みずほリサーチ&テクノロジーズ (4/20)
国立環境研究所、三菱商事パッケージング(株)情報交換。
- ・東京農工大学 (TOKYO PACK 2022 関連)
コラボセミナーでのZ世代登壇に向け、同大学の「プラごみ減らし隊」の学生を中心に交流。
窓口:同大学の研究支援課 研究戦略推進係 主任。
助言:大学院農学研究院 環境資源物質科学部門 准教授。

【情報システム委員会】

① ホームページの操作方法、掲載内容を改善。

- ・組織の概要にある英名の名称の修正、次ページへの移動方法、当会連絡先を掲載。(3月)
- ・会則ページ等の内容追加と改善(会則、役員選出規定、組織図、個人情報保護方針)(7月)
- ・会員募集フォームの説明文を修正。(9月)
- ・問い合わせのメール転送の不具合を修正。(2月)

② 理事会、会員向けアクション

- ・オンラインによるホームページ操作方法の資料作成及び理事会での説明。(7月)
- ・お知らせページに雑誌「包装技術」の掲載記事、セミナー案内等月1回以上の更新を行う。
- ・理事会開催後の議事録、資料等を公開。
- ・JPI 技術雑誌「包装技術」への対応。(投稿記事作成、専士会月度ページの掲載)

③ ホームページ管理費を3万円/月から7千円/月に下げ、課題解決作業は都度見積りと支払に変更して コストダウンを図った。年間支払ベースで約50%削減。

【専士会関西委員会】

① 関西理事会開催

- ・2022年度第1回理事会 2022年5月25日(水)17:40~18:20 Zoomによるリモート会議
- ・2022年度第2回理事会 2022年7月27日(水)17:40~19:00 Zoomによるリモート会議
- ・2022年度第3回理事会 2022年11月24日(木)17:40~18:20 Zoomによるリモート会議
- ・2022年度第4回理事会 2023年2月8日(水)17:40~18:20 Zoomによるリモート会議
- ・第4回決算理事会(2022年度) 2023年3月15日(水)17:30~18:55 Zoomによるリモート会議

② 包装専士会関西ミニセミナー（会員無料セミナー）

- ・第1回5月開催 日時:5月25日(水) 16時~17時 Web開催 (Zoom)
- ・第2回7月開催 日時:7月27日(水) 16時~17時30分 Web開催 (Zoom)
- ・第3回9月開催 日時:9月28日(水) 13時~16時30分 見学会
- ・第4回11月開催 日時:11月24日(木) 16時~17時30分 Web開催 (Zoom)
- ・第5回2月開催 日時:2月8日(水) 16時~17時30分 Web開催 (Zoom)

※Webで開催する場合、今後は東京の役員／理事全員に開催案内をした。(7月)

本年度新入会員8名にも案内することを決定。(11月)

③ 他の包装団体との連動（交流）

(公社)日本包装技術協会、包装4団体および公に準ずる包装団体に関する活動に参画。

—以下余白—

2022年度決算報告書

期間 2022年4月1日～2023年3月31日

	(単位 円) 2022年度予算	(単位 円) 2022年度決算
1 前年度繰越金	1,578,840	1,578,840
収入の部		
2 総会、懇親会費	0	0
3 入会金	21,000 (7名)	6,000 (8名中2名)
4 年会費	655,000 (131名)	535,000 (107名)
5 包装技術セミナー参加費	0	0
6 利子	0	13
7 その他、雑収入	0	999
8 小計	676,000	542,012
9 総計	2,254,840	2,120,852
支出の部		
1 総会、懇親会費	9,000	8,800
2 関西委員会 活動費	0	0
3 包装技術セミナー費	0	0
4 展示会(東京パック他)費用	100,000	184,640
5 2030包装の未来予測プロジェクト活動費	70,000	15,624
6 情報処理費(HP改訂、保守管理費)	396,000	184,800
7 通信費	15,000	10,416
8 交通費	0	15,720
9 事務費(会場費)	0	0
10 事務委託費(会計、会計監査、総会、他)	65,000	66,000
11 諸経費(手数料、事務用品、新年会分担)	21,000	11,835
12 小計	676,000	497,835
当年度繰越金	1,578,840	1,623,017

2023年4月12日(水) 岡田紙業(株)にて行われた会計監査に立会い、
詳細に監査したところ、正確に処理されていることを確認し、これを承認しました。

監事 菅 亮市



2023. 4. 12

第二号議案:2023 年度活動計画

2023 年度春先にはコロナの新規感染者は3ケタ台(東京・大阪)に下がり、行政もマスク着用が個人判断、感染症法上の2類から5類へ引き下げを行なった。 リモートコミュニケーションの利点, 対面の強みの両方を生かし、専士会会員間コミュニケーションや理事会/委員会運営を効果的かつ円滑に進めていく。 また、さらなるホームページの充実をはかり、一般包装従事者への情報発信や包装専士講座への受講、新規会員の増強に取り組む。

【展示委員会】

- ・10 月頃に次回の TOKYO PACK 2024 に向けての打合せを開催予定。
(JPIによる展示募集は9月末からの予定)
- ・今年度は予算無し、打合せは Web 会議を予定。

【情報委員会】

- ・(公社)日本包装技術協会発行「包装技術」内の日本包装専士会PRページ執筆とりまとめ。
昨年度は催事、展示、講演が多かったが、本年度は「日本包装専士会/委員会の活動紹介」50%と「日本包装専士会の PR」50%の割合をめざす。
- ・会報発行検討
会員サービスの一環として数年前に発行を終了した会報の発行を検討する。

【セミナー委員会】

- ・アフターコロナ環境下の新たなセミナースタイルへの対応と専士会の独自性を生かせるやり方について委員会内で検討を進めていく。
- ・ある程度の骨子と実施方法について目途が着けば、まずは小規模開催で新たなセミナーを開催する。

【未来包装研究委員会】

- ・TOKYO PACK 2024 に向け、未来包装研究委員会としての取り組み方針を決める。(上期)。
- ・パッケージとサステナビリティに関する海外情報の共有方法や、追いかけるべきテーマなど、役割分担を含め、在り方について、メンバーと意見交換する。(4-5 月)。
- ・毎月 1 回の web 会議を原則に開催する。
- ・リサイクル施設の現地視察を実施する。(交通費等発生)

【情報システム委員会】

- ① ホームページの操作方法、掲載内容を改善。
 - ・お知らせページの表示が 10 件の為、過去のものも閲覧できるよう表示数を増やす。
 - ・議事録の日付が TOP ページと MORE(すべて)ページで異なるため、開催日に統一する。
- ② 検討事項
 - ・会長挨拶をダウンロード方式か新規ページかで追加する。
 - ・関係者連絡フォームの送信先名を「ホームページ委員会」を「情報システム委員会」に変更する。
 - ・関係者連絡フォームの転送先アドレスの確認し、必要に応じて修正。
- ③ その他、各理事及び委員会より要請のあった内容について随時検討する。発生する費用については理事会の合意を求めた上実施する。

【関西委員会】

- ① 関西委員会理事会・対面／Web のハイブリッド方式を考慮した開催とする。(Zoom)
 - ・開催回数と日程を決定。場所は大阪市立青少年センター(KOKO PLAZA)を主に設定予定。
2023 年度第 1 回 5月25日(木)
第2回以降の日程 7／20、9／20、11／15、2024 年2／21の5回(見学会を含む)。
 - ② 専士会関西ミニセミナー (会員無料)
 - ・関西在住の専士会会員を対象に3-4回／年の包装関連セミナーを行う。
 - ・対面／Web のハイブリッド方式を考慮した開催とする。(Zoom)
 - ・対面の場合、受講対象者は理事含めて30名。連絡はメールにて行う。
 - ・Web(ハイブリッド)の場合は本部理事会メンバー、昨年度出席実績のある会員および昨年度修了の新入会員に案内する。
 - ・講師は会員が行うが、外部講師に依頼することもある。謝礼は会員 5,000 円、外部 10,000 円とする。
(新技術、基礎技術、展示会報告、業界動向、生活者動向、国際動向、官公庁動向など)
- 2023 年度第 1 回関西ミニセミナー 対面またはハイブリッド(Zoom)にて開催予定
実施日時 2023年5月25日(木) 大阪市立青少年センター

—以下余白—

2023年度(令和5年度)予算案

期間 2023年4月1日～2024年3月31日

				(単位 円)
1	前年度繰越金			1,623,017
収入の部				
2	総会、懇親会費		4,000×00名	0
3	入会金		3,000×2名	6,000
4	年会費		5,000×118名	590,000
5	包装技術セミナー参加費			0
6	利子			0
7	その他(雑収入)			0
8			小計	596,000
9	総計			2,219,017
支出の部				
1	総会費			10,000
2	関西委員会 活動補助費			50,000
3	包装技術セミナー費			0
4	展示会(東京パック等)費用			0
5	2030包装の未来予測プロジェクト 活動費			20,000
6	情報処理費(HP改訂、保守管理費)			160,000
7	通信費			15,000
8	交通費			70,000
9	事務費(会場費)			10,000
10	事務委託費(会計、会計監査、総会、他)			70,000
11	諸経費(手数料、事務用品、新年会分担)			20,000
12	予備費			171,000
13			小計	596,000
14	今年度繰越金			1,623,017
15	総計			2,219,017
				2023年3月30日
				事務局 渡辺作成

三号議案:役員選出(2023年度)

役職	区分	氏名	コース	期	所属
会長	留任	嶋 雅文	包装材料	18	
副会長	留任	下村 充	輸送包装	22	王子コンテナ株式会社
	留任	平田 達也	包装材料	24	株式会社メイワパックス
	留任	及川 英之	包装材料	25	味の素AGF株式会社
	留任	島田 賢一	食品包装	14	三菱商事パッケージング株式会社
事務局長	留任	今田 克己	包装材料	17	今田包装技術企画
事務局次長	留任	渡辺 茂紀	医薬品包装	15	株式会社協進印刷
理事	留任	小林 浩一	輸送包装	21	
	留任	中村 圭介	輸送包装	28	カネパッケージ株式会社
	新任	高橋 裕美	輸送包装	33	日本化工機材株式会社
	留任	鈴木 税	包装材料	17	ベルパック株式会社
	再任	高畑 幸典	包装材料	28	株式会社サガシキ
	留任	野田 貴治	包装材料	30	日本製紙株式会社
	再任	竹内 公生	食品包装	10	東洋製罐グループホールディングス株式会社
	再任	成田 淳一	食品包装	18	三井化学東セロ株式会社
	再任	小林 義浩	食品包装	22	味の素株式会社
	再任	中山 勉伸	食品包装	22	三井化学東セロ株式会社
	再任	春日 洋三	食品包装	23	株式会社細川洋行
	留任	橋本 香奈	食品包装	28	缶詰技術研究会
	再任	北島 誠之	食品包装	30	出光ユニテック株式会社
	留任	崎尾 宇伸	食品包装	34	株式会社タチバナインダストリーズ
	留任	友滝 謙輔	食品包装	34	廣川ホライズン株式会社
関西理事	再任	山本 高之	包装材料	23	岡田紙業株式会社
	留任	岡 美奈	食品包装	22	
	留任	堤 正一	医薬品包装	16	岡田紙業株式会社
	再任	清水 太一	医薬品包装	18	
	再任	小谷 聖	医薬品包装	30	株式会社細川洋行
特別理事	再任	有田 俊雄			有田技術士事務所
監事	再任	平野 雅裕	医薬品包装	18	株式会社タケトモ
	留任	菅 亮市	医薬品包装	19	岡田紙業株式会社
顧問	留任	安原 明世	システム	3	岡田紙業株式会社

以上